

別記様式(第9条関係)

(その1)

政務活動費収支・実績に関する報告書

令和5年4月17日

(宛先)飯塚市議会議長

会派名  
経理責任者名  
(又は議員名 佐藤 清和 )

令和4年度 政務活動費収支・実績に関する報告について

飯塚市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり  
令和4年度 政務活動費 収支・実績報告書を提出します。

令和4年度 政務活動費収支・実績に関する報告書

|       |                  |
|-------|------------------|
| 1 収入  |                  |
| 政務活動費 | <u>480,000</u> 円 |
| 【内訳   | 40,000円×12月】     |
| 2 支出  | <u>488,062</u> 円 |
| 3 残額  | <u>0</u> 円       |



(その2)

(単位：円)

| 項目    | 金額      | 内訳        |         | 備考     |
|-------|---------|-----------|---------|--------|
|       |         | 科目        | 金額      |        |
| 研究研修費 | 0       | 会場費       | 0       |        |
|       |         | 講師謝金      | 0       |        |
|       |         | 出席者負担金・会費 | 0       |        |
|       |         | 交通費       | 0       |        |
|       |         | 宿泊費       | 0       |        |
|       |         | その他の経費    | 0       |        |
| 調査旅費  | 0       | 交通費       | 0       |        |
|       |         | 宿泊費       | 0       |        |
|       |         | その他の経費    | 0       |        |
| 資料作成費 | 0       | 印刷製本費     | 0       |        |
|       |         | 翻訳料       | 0       |        |
|       |         | 事務機器等購入費  | 0       |        |
|       |         | リース代      | 0       |        |
|       |         | その他の経費    | 0       |        |
| 資料購入費 | 0       | 資料購入費     | 0       |        |
| 広報費   | 488,062 | 広報紙等印刷製本費 | 397,100 | 広報紙、封筒 |
|       |         | 送料        | 90,962  | 広報紙    |
|       |         | 会場費       | 0       |        |
|       |         | その他の経費    | 0       |        |
| 広聴費   | 0       | 会場費       | 0       |        |
|       |         | 印刷製本費     | 0       |        |
|       |         | その他の経費    | 0       |        |

備考

- 1 備考欄には主たるものを記入すること。
- 2 領収書その他具体的に支出の内容を明らかにした書面の証拠書類を添付すること。



政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 佐藤 清和 )

( 広報費 No.1 )

(領収証等貼付箇所)

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

佐藤 清和 様

R4 年 5 月 12 日

✦ ¥85,800-

但 印刷物(市政報告 第30号, 2,000部)代と17  
上記正に領収いたしました



内訳  
税抜金額  
消費税額等(%) 込

〒820-0067 福岡県飯塚市川津454-9

オフィスファイン

代表 榎崎 隆 司

TEL (0948) 26-0067 FAX (0948) 24-0067



APICA DR 371

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

佐藤 清和 様

R4 年 8 月 18 日

✦ ¥85,800-

但 印刷物(市政報告 第31号, 2,000部)代と17  
上記正に領収いたしました



内訳  
税抜金額  
消費税額等(%) 込

〒820-0067 福岡県飯塚市川津454-9

株式会社 オフィスファイン

代表取締役 榎崎 隆 司



APICA DR 371

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 佐藤 清和 )

( 広報費 No.2 )

(領収証等貼付箇所)

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

佐藤 清和 様

R4年11月22日

✳ ¥85,800-

但印刷物(市政報告第32号, 2,000部)代として  
上記正に領収いたしました



内訳

税抜金額

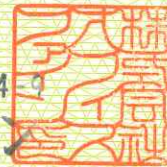
消費税額等(%)

3%

〒820-0067 福岡県飯塚市川津454-9

株式会社 オフィスファイブ

代表取締役 樋崎 隆司



APICA DR 371

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

佐藤 清和 様

R5年2月9日

✳ ¥104,500-

但印刷物(活動報告, 8,000部)代として  
上記正に領収いたしました



内訳

税抜金額

消費税額等(%)

3%

〒820-0067 福岡県飯塚市川津454-9

株式会社 オフィスファイブ

代表取締役 樋崎 隆司



APICA DR 371

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 佐藤 清和 )

( 広報費 No.3 )

(領収証等貼付箇所)

領収書

様

[別納引受]  
区内特別基(定) 15.5g  
@73 416通 ¥30,368

-----

小計 ¥30,368

第一種定形 15.5g  
@84 2通 ¥168

-----

小計 ¥168

郵便物引受合計通数 418通  
課税計(10%) ¥30,536  
(内消費税等 ¥2,776)  
非課税計 ¥0

合計 ¥30,536  
お預り金額 ¥30,536



〒100-8792 日本郵便株式会社  
東京都千代田区大手町2-3-1  
取扱日時: 2022年 5月31日 13:46  
発行No. 220531A8312 端N04箱01  
連絡先: 飯塚横田郵便局  
TEL: 0948-22-0994

領収書

様

[別納引受]  
区内特別基(定) 15.5g  
@73 404通 ¥29,492

-----

小計 ¥29,492

第一種定形 15.5g  
@84 3通 ¥252

-----

小計 ¥252

郵便物引受合計通数 407通  
課税計(10%) ¥29,744  
(内消費税等 ¥2,704)  
非課税計 ¥0

合計 ¥29,744  
お預り金額 ¥29,744



〒100-8792 日本郵便株式会社  
東京都千代田区大手町2-3-1  
取扱日時: 2022年 9月12日 13:37  
発行No. 220912A9433 端N04箱01  
連絡先: 飯塚横田郵便局  
TEL: 0948-22-0994

領収書

様

[別納引受]  
区内特別基(定) 15.5g  
@73 418通 ¥30,514

-----

小計 ¥30,514

第一種定形 15.5g  
@84 2通 ¥168

-----

小計 ¥168

郵便物引受合計通数 420通  
課税計(10%) ¥30,682  
(内消費税等 ¥2,789)  
非課税計 ¥0

合計 ¥30,682  
お預り金額 ¥30,682



〒100-8792 日本郵便株式会社  
東京都千代田区大手町2-3-1  
取扱日時: 2022年12月 8日 14:08  
発行No. 221208A0385 端N04箱01  
連絡先: 飯塚横田郵便局  
TEL: 0948-22-0994

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 佐藤 清和 )

( 広報費 No.4 )

(領収証等貼付箇所)

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

佐藤 清和 様

R4年 8月 25日

※ ¥16,500-

但 印刷物(長3封筒, 1,000枚)代として  
上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額

☎820-0067 福岡県飯塚市川津454-9

消費税額等( %)

込

株式会社 オフィスファイブ

代表取締役 榎崎 隆司



APIC4 DR 371

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

佐藤 清和 様

R5年 2月 13日

※ ¥18,700-

但 印刷物(長3封筒, 1,000枚)代として  
上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額

☎820-0067 福岡県飯塚市川津454-9

消費税額等( %)

込

株式会社 オフィスファイブ

代表取締役 榎崎 隆司



APIC4 DR 371

□□□-□□□□

みんなの笑顔のために 前進!

**佐藤清和事務所**

さとう きよかず

〒820-0081 福岡県飯塚市枝国 386-2

TEL:0948-29-3611

FAX:0948-29-3611





飯塚市議会議員 **佐藤 清和**

令和4年度  
春  
第30号

## 市民フォーラム

議会での一般質問の概要や議案の審議・可決など  
最近の取り組みをご報告いたします。



花冷えの頃は体調を崩しやすいものです、どうぞご自愛くださいませ。

連日、ロシアのウクライナ侵略の見るに耐え難い報道がされ胸を引き裂かれる思いです。ただ、ただ1日も早く停戦することを祈るばかりです。戦争は教科書で過去の歴史を振り返るものだと考えていたことや、平和だと信じていた当たり前の状態が当たり前ではなくなりました。戦争で祖父の顔を見ることが出来なかった私も、もう一度平和という言葉が、どれほど重たくて尊いものなのかを改めて考えていきます。

## 市政報告

令和4年第1回飯塚市定例会が3月1日から18日の日程で行われました。提案された案件は補正予算議案3件、当初予算議案14件、条例議案5件、人事議案24件、専決処分の承認議案1件、その他の議案4件、報告2件です。それぞれ審議し可決をしました。

## 令和4年度 当初予算を可決しました。

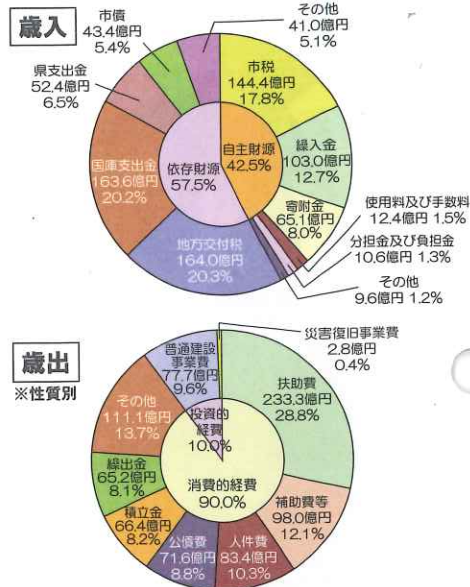
一般会計約810億円、特別会計約550億円、企業会計約96億円、計約1458億円の当初予算を可決しました。

主なものとして

- 穂波庁舎改修事業費 約2.8億円
- 楽市・平恒保育所整備事業 約8.5億円
- ワクチン接種事業費 約4.6億円
- グラウンドゴルフ場整備事業費 約5.2千万円  
(令和6年度共用開始予定) 測量設計委託料等

などです。審査した結果、賛成多数で可決しました。

809億4,600万円(+53.2億円)  
(一般会計予算内訳)



## グラウンドゴルフ場 建設へ

私が10年ほど前から要望していました、グラウンドゴルフ場が令和6年度共用開始予定として、今年度、調査測量設計委託料約2.8千万円、排水管布設工事負担金約2.4千万円が計上されました。これにより2ヵ年計画で飯塚市にもグラウンドゴルフ場が建設されます。

私が主張していました、飯塚市は福岡県の中央に位置し、交通の利便性も良いので県大会、九州大会が行われるようなグラウンドゴルフ場整備が実現していたものです。場所は旧穂波町内の観音山に予定されています。

## 飯塚オートレース場メインスタンド整備

飯塚オートレース場のメインスタンドが約25億円をかけて整備されます。

飯塚オートレースはH27年度民間委託し、H26年度から単年度黒字に転換し、今までの累積赤字が約18億円から約10億円に減り営業努力をされています。飯塚オートレース場は近隣のボートレース芦屋やBOAT RACE福岡の施設に比べ老朽化が目立ち固定のファンしか訪れないような佇まいでした。選手の宿泊施設も老朽化が目立ちます。まずはメインスタンドを



整備して多くのファンが再び訪れていただくことを期待します。

憤

## 議員定数24名から28名にする請願を採択

令和元年6月に私たちが提出した定数を4名削減し24人にしたものを再び28名に戻すようにした請願が令和3年9月に提出されたものが委員会審議を終え本会議で賛成多数で可決しました。

- 定数が削減されると市民の意見が反映されにくい。
- 女性をはじめ多様な市民から構成され、多様な意見が反映されるように定数を28名に戻して。

という内容です。

本会議では  
賛成討論から

- 議会改革と財政改革は別物。
- 削減すると市民の声が届きにくくなる、議会の力が弱くなる。 金子 加代 議員
- 前回定数削減に賛成したが熟慮が足りず、拙速であった。 吉松 信之 議員

反対討論から

- 合併による財政効果がなくなることを踏まえ議会自ら改革をして市政に取り組むべき。などの意見が出て賛成13名反対12名退席2名で賛成多数で採択になりました。

※尚、今回は請願の採択であり、今後はこのことを踏まえ条例改正がなされ始めて定数が24名から28名になります。



### 24名から28名にすることに賛成した議員

江口 徹、兼本 芳雄、吉松 信之、福永 隆一、城丸 秀高、平山 悟、深町 善文 (注1)  
金子 加代、川上 直喜、小幡 俊之、吉田 健一、田中 博文、鯉川 信二

### 退席した議員

秀村 長利、永末 雄大

### 反対した議員

佐藤 清和、道祖 満、坂平 末雄、光根 正宣、奥山 亮一、土居 幸則、田中 武春、  
上野 伸五、田中 裕二、守光 博正、瀬戸 光、古本 俊克

(注1) 赤字で記載の議員：前回、24名に定数削減するのに賛成した議員

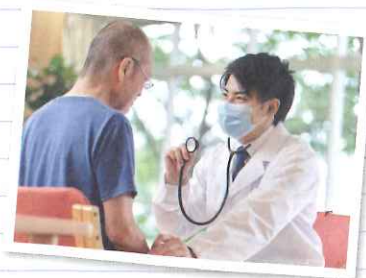
※私は議会自らが改革の意思を見せるために率先して定数を削減したものを1度の選挙も行わず定数を元に戻すことは市民の皆さんに選挙前に保身に走ったとみられることから反対をしました。

私は議会で投じる1票はいつも真剣に向き合い投じてきました。今回、同じ任期中に自身の身分に関する定数条例について、前回削減に賛成したにもかかわらず、翻って元に戻す請願に賛成された議員、退席された議員は説明責任を求められると考えます。本市の面積、人口が劇的に増えたなら考えが変わったのも理解できますが、現時点で考えを変えられたことに疑問を覚えますし、憤りも感じます。選挙が来年に迫った中でこんなことをしていると保身ばかり考えてと思われ信用が失墜するのではないのでしょうか。非常に残念です。

## 市長の令和4年度施政方針に対し代表質問を行いました。 以下の事項について要望しました。

### 健幸・子育てについて

- 飯塚市立病院を地域包括ケアシステムの強化のためにも医師会と連携してバックアップ病院としての機能の充実を。  
(バックアップ病院とは在宅で容態が急変して入院が必要になった場合、直ちにバックアップ病床を提供し、回復すれば在宅に戻し、訪問診療を行なっている医師などに繋げて住みなれた自宅で人生の最後を迎えられるような仕組みづくりを持つ病院のことです。)
- 子ども・障がい者・高齢者・生活困窮者の方々が対象者ごとの支援体制ではなく、各部署間で支援体制を協議し重層的支援体制を整備して地域包括ケアシステムを充実させて真の地域共生社会の実現を。



### 地域経済について

- 福岡県で1位となったふるさと納税を更なる充実し、これまで以上に飯塚市の価値を高め定住促進を推進できる事業に。
- 市内の放置竹林を計画的に整備して、竹のマテリアル利用、バイオマス利用の促進を。

### 教育・文化について

- 教育施設での新型コロナウイルス感染症対策の充実を教育委員会が率先して行うように。
- 小中一貫教育を実施しているが、学校と地域との連携・協働のあり方については施設一体型の学校と施設連携型の学校との課題の違いを教育委員会として把握して地域と連携・協働を促進するように。
- 老朽化した体育施設(穂波体育館・庄内体育館)の改修工事とグラウンドゴルフ専用のグラウンド建設。



### 自然環境について

- 脱炭素社会の実現に向けて自費型の太陽光発電、住宅・建築物の省エネ、ゼロカーボン・ドライブ等の補助金等を活用しながら、カーボンニュートラルを目指して早急に全庁一体となって飯塚市独自の取り組みを。

—等を項目ごとに質問をしながら要望をしました。尚、健幸・子育てで行いました、地域包括ケアシステムの充実の一環として重層的支援体制については6月定例会でもっと掘り下げて質問をいたします。

### 「明星寺川」河川監視カメラ確認できます!

前回報告しておりました、枝国3区 旧浦田店付近の河川監視カメラ、インターネットで確認できます。

[飯塚市ホームページ](#) → [防災・防犯](#) → [防災](#) → [河川監視カメラライブ映像](#)

→ [飯塚市河川監視カメラ\(外部サイトリンク\)\(別ウィンドウで開きます\)](#)



▲明星寺川(枝国3区 旧浦田店付近)

お困りごとや相談がありましたら何なりと事務所へご連絡ください

連絡先 / 佐藤清和事務所 〒820-0081 飯塚市枝国386-2

TEL:0948-29-3611 FAX:0948-29-3611

飯塚市議会議員 **佐藤 清和**

令和4年度  
夏  
第31号

## 市民フォーラム

議会での一般質問の概要や議案の審議・可決など  
最近の取り組みをご報告いたします。



コロナ禍での夏も3年目を迎えましたが、ここに来て感染者数が急激に増えており過去最多を記録している地域も出てきております。感染症対策にマスク着用は欠かせませんが、この酷暑の中では時に熱中症などの命の危険を伴います。各自、臨機応変に対応し安心安全を心がけながらご自愛ください。

### 市政報告

令和4年第3回市議会定例会が6月13日から27日の日程で開催され、補正予算1件、条例議案4件、人事案件1件、専決処分の承認議案2件、その他の議案4件、報告10件が提案され、それぞれ審議、採決を行いました。また議員提出議案として、「議員定数に関して市民との意見交換を行なう機会を設け、検討するように要望する」決議案と「議員定数を24名から28名」とする条例が提出され審議をしました。

## 議員定数に関して市民との意見交換を行う機会を設け、 検討するように要望する決議案 否決

議員定数に関して市民との意見交換を行う機会を設けるように要望する決議案を私も賛成者として提出しました。内容として

- 今期当初に次の選挙から議員定数を28名から24名とする条例を1度の選挙も行うことなく再び28名に増員されようとしている。
- 議会は民意を基にした自治体の意思決定機関である。住民を交えて最適解を図るべきである。——などです。



### 反対討論

- まずは定数を28名に戻して、その上で定数や議会の在り方を市民と検討すべき【金子議員】

### 賛成討論

- 定数を再び元に戻すにしても、やはり各まちづくり協議会の方々など市民の声を聞くべきなどの意見が出て採決の結果、賛成8名、反対19名で否決されました。

## 議会議員の定数を24名から28名に増員する条例案 可決

議員定数を24名から28名に増員する条例案が提出され賛成15名反対12名で可決されました。このことにより次回の飯塚市議選は今期当初に24名に議員定数を削減したにも関わらず28名に増員することになります。

### 賛成討論

- まずは定数を28名に戻して、どういう議会にするかを考えるべき。【兼本議員】
- コロナ禍で議員が果たすべき役割が大きくなっている。委員会構成人数が減る。【平山議員】などの意見が出ました。私は、今までの主張の通り人口減少等の影響で財政悪化が見込まれる事などにより議会自ら身を削る努力をするべき立場から、反対の意志を貫き反対討論を行いました。(次ページに掲載)

1度決めた定数を数名が自分の意見を翻し、再び4名増員し、28名にしたことは市民の方々の理解は得られないと考えます。

私は今まで議会で投じる1票は応援して頂いた方々、飯塚市民の皆様のことを考え、真剣に考えて投じてきました。この議決に対する責任の重さを軽視した、この一連の行動は理解出来ませんし、悔しい限りです。

## 佐藤 清和が反対の意思を本会議場で主張しました。

本件の採決に当たり、まず皆さんに自問していただきたい。先の削減議案に際して自身が示した判断は、市民の付託を受けた議員として、市民の代表として、真摯に、各々が責任を持って為したものであるはずです。それを今、翻す理由は何なのか、自問し、しっかりと説明責任を果たしていただきたい。

本議案の提案理由は「請願に基づき」とされています。いうまでもなく、請願は請願者の意見であり、市民すべての意見ではありません。請願は請願者の意を受け止め、審議する我々が市民の代表として意見を持ち寄り議論してはじめて完結するものであると考えます。

それにもかかわらず、都合のよい一部分を切り取り、自らの責任ある議決を翻意し、議会としてしての議決を覆す、はたしてそれが、請願者が、市民が求める議会の姿でしょうか？

議会議員の責任や必要性が問われる請願の採決であるにも関わらず、残念ながら採決を棄権するという、もはや自身の存在意義を放棄したと受け取られかねない選択をした議員も出るなか、僅差ではありますが、確かに請願は採択されました。そのことを私も飯塚市議会の一員として尊重します。しかし、尊重すべきは市民の意見を聴くこと、これまで以上に女性活躍や多様性が求められる社会にあって、我々議会が何を為すかであるはずで

す。請願を隠れ蓑に、あるいは請願者のせいにして自らの翻意を、あるいはその時点の無責任さを取り繕うなどということがあってはなりません。

市民の信託を受け、常にその責任において為すべき議決の責任を安易に翻意すること、更には、「削減議案が市民との対話がなされないまま行われたことを反省し提出する」としながら、現に、この議案が市民の意見を聴くこともなく、今こうして採決に至っていることは、各々の議員が、そして飯塚市議会がこれまで積み重ねてきたであろう、市民からの信頼を失う行為であり、自らの責任を信念において市民を代表するという我々議員の存在意義を放棄する、まさに自殺行為であります。

同僚議員の皆さん、我々が真に市民の代表として、市民意見を反映し、社会の多様性を議会において確保するために為すべきことは何でしょうか。少なくとも無責任に市民の信頼を捨て、市民の意見を聴くことを先送りにし、改選にむけ定数を現状維持に戻すことではないはずで

す。請願の趣旨に賛同することと、自らの議決を無責任に翻意することは違います。責任ある議決を維持してもなお、請願の趣旨は叶えられます。

信託に基づき、議決に責任をもち、我々議会がそれに足るものだと認められ、議員としての役割を果たしていくことが肝要ではないでしょうか。



▲反対の立場で討論する佐藤清和

## 「地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進」について一般質問を行いました。

**佐藤** 全国的に少子高齢化に伴う人口減少社会が進み、高齢者のみ世帯や単身高齢者世帯が増加しています。更に近隣住民との付き合い・地域コミュニティが希薄している状況です。

地域福祉計画を策定されていますが、計画期間が10年間と長く、近年の社会情勢の変化に対応できているのかを危惧しています。現在の地域福祉計画の進行管理「PDCA」と成果をどのように捉えているのか？



**福祉部長** 公募による市民の代表者や福祉関係団体の代表者、学識経験者等の委員で構成する「飯塚市地域福祉推進協議会」で年度ごとの事業の推進状況を毎年管理しております。この計画推進のためにあらゆる手法を用いて一定程度の成果が出ていると考えています。

**佐藤** 本市の地域福祉が他の福祉計画の上位計画であるとすれば、他の福祉計画との整合性を図るために何らかの見直しが必要だと考えますか？

**福祉部長** 地域福祉計画は各分野の事業計画の上位計画として地域における高齢者の福祉、障がい者の福祉、児童の福祉その他の福祉分野の共通事項や地域課題を解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備に関する事項を盛り込むように準備を進めています。「第3期地域福祉計画」の策定については、ご指摘の点を踏まえ十分に留意して進めてまいります。

**佐藤** 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築についてはどのようなことが必要だと考えられていますか？

**福祉部長** 少子高齢化や家族形態の変化、福祉ニーズの多様化、地域社会の脆弱等、地域住民が抱える課題も複雑化をしています。そのため個別ニーズに応じた属性や世代を問わない支援への対応として、その家族のニーズや課題などを丁寧に把握し、本人や家族の状態にあった支援メニューを構築し、支援の実施状況についてフォローアップしていくことが重要だと認識しています。

**佐藤** 地域共生社会の実現に向けては、複雑かつ複合した地域課題を解決することが重要であると考えます。次期の福祉計画を策定されるにあたっては担当課だけでなく、高齢者、子ども、生活困窮者などの関係各課による庁内連携が必要だと思います。地域共生社会実現に向けて庁内に検討会を立ち上げて原案を考えるつもりはありませんか？

**福祉部長** 関係各課において連携を図りながら協議を行い庁内で確認や意見を求めた上で計画原案を取りまとめ、諮問機関である地域福祉推進協議会で策定作業を進めてまいります。

**佐藤** 私は副市長をトップとして関係各課による検討委員会を設置し原案を作成するべきだと考えます。最後に市長、これまでの私の質問に対する答弁をお願いします。

**市長** 質問議員と福祉部長とのやり取りをドキドキしながら聞いておりました。まずは質問議員とは15年前子どもたちの健全育成について熱く語り合った時を思い出して、今度は高齢者や格差の問題に取り組もうとなさっているんだなどの思い、飯塚市もまさにこの取り組みが必要な時代になります。先ほど副市長をトップにだとか、全庁横断的にとおっしゃいましたが、まさに私も同感です。そういう思いから共生社会づくりということを目標に掲げ支え合い助け合うことのできる飯塚市になるように取り組んでいきます。

お困りごとや相談がありましたら何なりと事務所へご連絡ください

連絡先／佐藤清和事務所 〒820-0081 飯塚市枝国386-2

TEL:0948-29-3611 FAX:0948-29-3611



飯塚市議会議員 **佐藤 清和**

令和4年度  
冬  
第32号

## 市民フォーラム

議会での一般質問の概要や議案の審議・可決など  
最近の取り組みをご報告いたします。



円安、原油価格や物価の高騰など、先行き不透明な状況が続いておりますが、忙しい年末を前に、お体に気をつけてお過ごしください。

## 市政報告

令和4年第4回飯塚市議会定例会が9月5日から28日の日程で開かれ、補正予算議案1件、条例議案5件、人事案件6件、専決処分の承認議案1件、その他の議案5件、認定15件、報告3件が提案され、それぞれ審議し採決を行いました。

今回、定例会での議案等や飯塚市の取り組みとして

○令和3年度決算認定      ○楽市・平恒統合保育所 新設へ      ○姉妹都市交流

○オンライン学習の試行実施      ○飯塚市の児童虐待の状況報告

について報告いたします。

## 令和3年度決算認定

令和3年度飯塚市一般会計歳入歳出決算をはじめ飯塚市国民健康保険特別会計などの10の特別会計が令和3年度決算特別委員会に付託され審議し賛成多数で可決をしました。ちなみに私、佐藤が委員長に互選され審議をいたしました。



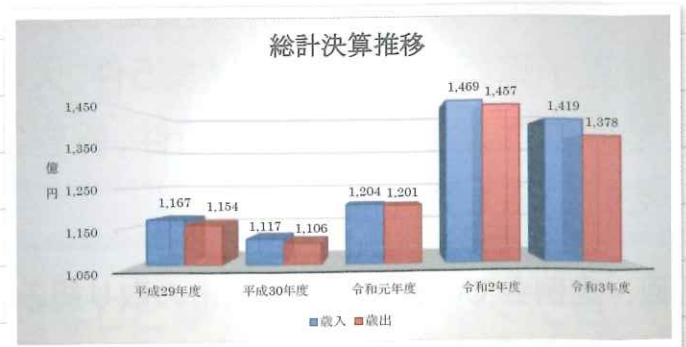
一般会計の歳入は856億5,350万1千円、歳出は817億7,401万3千円で、前年に比べ歳入で50億3,538万6千円(△5.6%)、歳入で72億1,181万4千円(△8.1%)、それぞれ減少しています。実質収支は33億7,697万1千円の黒字で、単年度収支でも25億8,759万8千円の黒字となっています。

一般会計の歳入を性質別に見ると、自主財源は342億889万6千円で前年度に比べ31億927万8千円(10%)増加し、歳入に占める割合は39.9%で5.6ポイント上昇しています。

自主財源の41.7%を占める市税は142億5,290万円で、前年度に比べ9,387万6千円(△0.7%)の減収となっています。減収の要因は固定資産税及び市民税の減収によるもので、固定資産税は主に新型コロナウイルス感染症に係る中小企業・小規模事業者への軽減措置により1億2,256万円(△1.9%)の減収となっています。自主財源の19.3%を占める寄附金は、ふるさと応援寄附金の増等により、前年度に比べ22億1,773万9千円(50.5%)大幅に増加し66億1,005万4千円となっています。財産収入については市有土地売却収入の増等により、前年度に比べ17億9,155万6千円(287.6%)大幅に増加し、24億1,452万4千円となっています。

本年度は経常収支比率及び将来負担化率の改善はしていますが、今後も厳しい財政状況が続くことが予想されることから、各種財政指標を注視するとともに、自主財源確保等に努めなければならないと考えられます。

特別委員会で一般会計及び国民健康保険特別会計などの10の特別会計を2日間にわたって審査したのち賛成多数で可決しました。



## 楽市・平恒統合保育所 新設へ

老朽化した楽市保育所・平恒保育所を統合し平恒地域にある穂波武道場跡に建設します。

子どもたちが健やかに過ごせる保育園舎になるように尽力していきます。なお穂波武道館廃止による武道をされる方々のために穂波体育施設の充実に努めていきます。



▲施設イメージ図

## 姉妹都市交流

飯塚市は平成25年(2013年)アメリカ カリフォルニア州のサニーベール市と友好交流関係協定書を締結し、将来世代の人材育成を図ることを目的に、学校間交流を中心にお互いの関係を深めてきました。



コロナ禍で交流を見合わせていましたが、今回姉妹都市であるサニーベール市の中高生19名、随員5名が6月17日から7日間の日程で来飯し、ホームステイや学校訪問を通して国際交流を行い、友好の絆を深めました。

サニーベール市はサンフランシスコから南に40マイル(約64km)の場所に位置し、Yahooなどの世界的企業が集積するシリコンバレーを形成する都市です。

飯塚市の子ども達がそんな都市の文化に触れることは大変意義深いものだと考えており、一日も早くコロナ禍が収束し、本市の子ども達もサニーベール市に行ける日が来ることを望みます。

## オンライン学習の試行実施

飯塚市では令和2年度に市立学校の小学1年生から中学校3年生まで、1人1台の学習用タブレット端末を整備し、令和3年度から本格運用をしています。このことにより市立小中学校の授業では、子供たちが鉛筆やノートと同じように学習用タブレット端末を日常的に使用する場面が増え、ICTの活用が進んでいます。

この夏休みを利用して児童生徒用タブレット端末の活用として夏休み中に児童生徒がタブレット端末を利用して家庭学習を行えるように、昨年に引き続き、タブレット端末を持ち帰り実施しました。



## 飯塚市の児童虐待の状況報告

飯塚市における児童虐待の状況報告が議会最終日に報告がありました。令和2年度に比べて令和3年度の件数が下記の表にあるように大幅に増加しています。

その要因として

①今までは県の児童相談所が対応した件数はカウントしておらず、今年度は児童相談所と連携して取り組みをしたのでカウント数が増えた。（児童相談所と市との連携が深まったため）

②表にある7歳から12歳までと13歳から15歳までの件数が増えている。これは学校での取り組みが強化され、さらに家庭との連携が深まったためと分析をしています。

生後4ヶ月までの乳児のいる世帯を全て訪問し、子育てに関する情報提供及び養育状況の把握をおこなっています。また子どもの養育状態に問題が発生する可能性がある世帯は

訪問頻度を上げ、詳細な実態把握及び生活指導を行い、必要に応じた関係機関の連携強化を図っています。飯塚市に住む子どもたちが1人でも虐待にあうことのないように取り組んで行かなければと思います。

③相談対象者の年齢の状況

(単位：世帯)

| 区 分             | 令和2年度      | 令和3年度      |
|-----------------|------------|------------|
| 0歳から3歳まで        | 91 (36.5%) | 92 (27.0%) |
| 4歳から6歳まで(就学前)   | 20 (8.0%)  | 26 (7.6%)  |
| 7歳から12歳まで(小学生)  | 32 (12.9%) | 78 (22.9%) |
| 13歳から15歳まで(中学生) | 24 (9.6%)  | 37 (10.8%) |
| 16歳から18歳まで      | 10 (4.0%)  | 20 (5.9%)  |
| 19歳以上(主に特定妊婦)   | 72 (28.9%) | 88 (25.8%) |
| 計               | 249        | 341        |

## 市勢振興功労者表彰式

飯塚市の市勢の振興に寄与した方々をたたえ、市民の模範となる行為があった方々を表彰する「市勢振興功労者表彰式」が11月3日飯塚市市役所で開かれました。

自治、社会福祉、保健衛生、教育文化、生活安全の各分野で永年にわたり市勢振興に寄与された37名の方が表彰を受けられました。

私も自治功労の分野で表彰を受けました。私1人の力で表彰を受けたのではなく、お支え頂いた皆様のお陰だと改めて気の引き締まる思いを致しました。



お困りごとや相談がありましたら何なりと事務所へご連絡ください

連絡先／佐藤清和事務所 〒820-0081 飯塚市枝国386-2

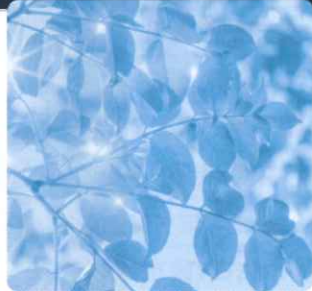
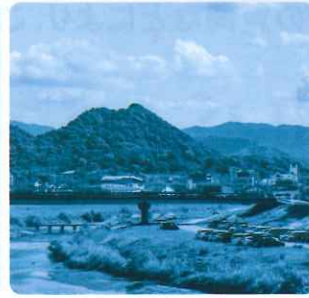
TEL:0948-29-3611 FAX:0948-29-3611

|飯|塚|市|議|会|で|の|活|動|報|告|

# Activity Report

令和4年度総括号として私自身の  
これまでの取り組みをご紹介します。

飯塚市議会議員 佐藤 清和



## 住みやすい飯塚のために取り組みました

これまでの主な実績

- 明星寺川の浸水対策
- 旧若菜小学校の跡地利用
- 小中学校の学力向上
- 防犯メールの導入
- 学校給食の全小中学校自校方式導入
- 給付型奨学金制度の条例を制定
- 保育士修学資金貸付条例を制定
- 保育士生活資金貸付条例を制定
- 子ども発達障害者支援センターの招致
- 八木山バイパスの交通渋滞の解消
- 飯塚駅周辺の開発整備
- グラウンドゴルフ場の建設

### Profile プロフィール

- 平成 7年／穂波町議会議員初当選  
27歳
- 平成15年／穂波町議会議員3期目当選
- 平成19年／飯塚市議会議員当選  
厚生文教委員長
- 平成23年／飯塚市議会議員当選
- 平成25年／飯塚市議会 総務委員長
- 平成29年／飯塚市議会 副議長

政治信条

「初心忘れるべからず」・「清潔・公平・公正」

## 今期の主な取り組み

八木山バイパスの渋滞緩和のための全線4車線化の工事が始まっております。これは1市4町が合併して初めての議会で私が取り上げて以来ずっと取り組んできましたがようやく実現し工事が始まりました。

また中心市街地活性化基本計画から国により菰田地区が除外されてから取り組んできた飯塚駅周辺の開発も駅周辺の老朽化したビルの整備工事が実施され実現しました。

高齢者の健康に住みやすい飯塚市を目指し穂波地区にグラウンドゴルフ場の施設整備を策定することを要望し2024年度完成へ向けて実施されます。

財政が益々厳しくなる状況の中、財政改革は率先して市議会自ら行うべきとの信念を元に議員定数削減に取り組み28人から24人に減らす条例を一度は可決しましたが、再び改選待たず元の28人に「撤回」される形となり非常に残念です。

これまでの質問などにより、この4年間での成果について報告をいたします。

## 八木山バイパス渋滞緩和の工事実現！

八木山バイパスは2014年10月に無料化され、交通事故などで渋滞が慢性化するなど、私たちには使いづらい道路になっていました。

私は合併した2006年より議会での代表質問・一般質問で幾度となく、八木山バイパスの全線4車線化と弁分インターから篠栗町終点までの間にインターを建設するように要望をしてきました。

また国道200号201号バイパス促進規制会という組織があり、私が副議長時代に年に数回、国土交通省、福岡県選出の国会議員の方々に八木山バイパスの渋滞緩和に集中して要望行動をしてきました。

その結果2018年3月に八木山バイパスの全線4車線化の調査費が予算化され、現在工事が進んでいます。

全線4車線化については実現しますが、今後は弁分インターから篠栗町終点までのインター建設に向けて取り組みを進めていきます。



◎2006・2012・2013・2015・2018・2020年に代表質問および一般質問で質問を行いました。

## 飯塚駅周辺整備が実現！

菰田地区が飯塚市中心市街地活性化基本計画から国により除外されて以来、私は駅を中心としたまちづくりを進めるため、また私が幼かった頃の菰田地区の賑わいを創出するために、飯塚駅の整備、駅周辺の開発を訴えてきました。

JRは民間企業であることから、やはり飯塚駅の乗降客が増えなければ駅のバリアフリーなどの整備には取り組まないと考えられます。

そこで先に周辺の賑わいを創出するべきと考え、取り組んだ結果、飯塚市青果市場の跡地にゆめタウンが進出することが実現しました。

今後もゆめタウンがオープンすることにより、飯塚駅周辺の賑わいが再び蘇り、飯塚駅が整備されるまで取り組んでいきます。

◎2017・2018年に一般質問を行いました。



## 穂波地区にグラウンドゴルフ場の建設を実現！

私が合併当初の頃、あるグラウンドゴルフの愛好者の方から「桂川町には立派なグラウンドゴルフ場がある、飯塚市にも作るべきでは」と言われ同感して、福岡県の中心に位置する飯塚市に建設するなら、県大会が行われる規模のグラウンドゴルフ場を建設すべきだと主張し、本年度に設計の予算が計上され来年度中の建設を目指しています。このことにより福岡県内の高齢者の方々が飯塚市を訪れ交流が深まり、生きがいを持ち楽しめることを期待してきます。



「グラウンドゴルフ競技施設は2024年度完成」と方針を明らかにした片峯市長

◎2010・2012・2020年に代表質問で質問を行いました。

## 議会議員の定数削減案提出

前回の選挙後の2019年6月定例会に公約にもしていました、定数を現行の28人から24人にする条例改正案を提出し、賛成21反対6で可決しました。しかしその後「女性や若者の声など多様な意見を議会に届ける必要がある」として再び28人戻すことを求める請願が提出され賛成15反対12で条例を改正したにもかかわらず1度の選挙もせず再び定数が28人になることになりました。合併により優遇されていた財政措置も無くなり、さらに厳しい財政運営が予想されます。

そしてこの新型コロナウイルス感染症の対応、物価の高騰などから、初志貫徹の思いで定数を削減することを貫きましたが、8人の議員が当初の意思を翻し、定数が再び28人になったことは市民の方々への裏切り行為だと思ひ今でも憤りを覚えます。



### この4年間に下記のことについて一般質問及び代表質問を行いました。

| 年  | 一般・代表           | 質問事項                     | 年  | 一般・代表                     | 質問事項         |
|----|-----------------|--------------------------|----|---------------------------|--------------|
| 元  | 一般              | 防災対策について                 | 2  | 一般                        | 外国人技能実習生について |
|    | 一般              | 菰田・堀池地区の活性化について          |    | 一般                        | 認知症施策について    |
|    | 一般              | 八木山バイパスについて              | 代表 | 前文について                    |              |
|    | 一般              | 企業誘致について                 | 代表 | 人権・市民参画について               |              |
|    | 一般              | ブロック塀等の安全対策について          | 代表 | 行政経営について                  |              |
|    | 一般              | これからの生涯学習振興の方策について       | 代表 | 健幸・子育てについて                |              |
|    | 一般              | 飯塚市奨学金貸付基金について           | 代表 | 地域経済について                  |              |
|    | 一般              | 都市公園について                 | 代表 | 教育・文化について                 |              |
| 2  | 代表              | 人権・市民参画について              | 代表 | 都市基盤・生活基盤について             |              |
|    | 代表              | 行政経営について                 | 一般 | 浸水対策について                  |              |
|    | 代表              | 健幸・子育てについて               | 一般 | 八木山バイパスについて               |              |
|    | 代表              | 地域経済について                 | 代表 | 健幸・子育てについて                |              |
|    | 代表              | 教育・文化について                | 代表 | 地域経済について                  |              |
|    | 代表              | 都市基盤・生活基盤について            | 代表 | 教育・文化について                 |              |
|    | 一般              | 小中学校におけるコロナウイルス感染症対策について | 代表 | 自然環境について                  |              |
|    | 一般              | 子育て支援センターについて            | 一般 | 地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進について |              |
| 一般 | 学校再開後のコロナ対応について |                          |    |                           |              |

## 佐藤清和の想い

私、佐藤清和は皆様の暖かいご支援のおかげをもちまして、穂波町議会議員を3期、飯塚市議会議員を4期務めさせて頂きました。その間、教育環境、福祉施策の充実、防災体制の整備などに取り組ませて頂きました。

また今期は未曾有の災禍の中、今まで支えて頂いた皆様、そして私が苦しい時も支えて頂いた皆様に報いるために、常に真摯に、議員活動をして参りました。

今後も皆様の笑顔の見えるまちづくりのために10年後、そのもっと先を見据え初心を忘れず取り組んでいく決意です。



## これからの取り組み

### 定住促進

これからの飯塚市が行政サービスを安定的に提供していくためには少子高齢化・人口減少への対応など増大する行政需要に対して取り組んでいくには、やはり定住促進が不可欠であろうと考えます。

そのためには安全で安心して住み続けられるまちづくりを推進するため、子育て支援の充実、住宅取得の支援、まちの魅力の向上などに引き続き取り組んでいきます。

現在は働き方改革という国家的プロジェクトが立ち上げられ、その中にICTを活用したテレワークの推進が挙げられたことにより、遠隔コミュニケーションへの関心が高まり、企業の中にはリモートワークを活用して居住地に関わらず社員を採用する企業も出て来ています。この時期をチャンスと捉えて、さらに地方再生の動きを進めて行きます。

### 災害対策

穂波町議員時代に7.19災害を始め明星寺川の水害を経験し、明星寺川の浸水対策には集中して取り組んで参りました。その結果、徳前ポンプ場の新設、県道地下に6m×4mのカルバートボックスの埋設、潤野地域に調整池の整備などが実現し、枝国地域は以前より水害に強い地域になりました。この経験を活かし今後は飯塚市全体の災害対策に取り組んでいきます。

特に庄司川や庄内川の河川の改修や、調整池の整備、排水機能の強化など、災害に弱い地域に集中して対策をしていきます。

### 教育・福祉環境

教育環境の充実については穂波町議員時代から子育て世代として取り組んできました。また、福祉施策の充実に対しては、私が小学校6年生のときに父が脳溢血により右半身麻痺の障害をおったことで実際に介護をしていたので、その経験を活かして取り組んできました。特に教育予算は合併当初は市の全体の4%であったものが今では全体の10%弱にまで伸びています。

これからも子どもを持つ親として、また親を持つ子どもとして、教育環境、福祉施策の充実にも全力で取り組んでいきます。

お困りごとや相談がありましたら何なりと事務所へご連絡ください

連絡先／佐藤清和事務所 〒820-0081 飯塚市枝国386-2

TEL:0948-29-3611

FAX:0948-22-2453